

# コスモ石油株式会社 2003年度中間決算説明

---

2003年11月19日

常務取締役

森川 桂造

単位:億円

	当中間期	当中間期内訳		前期比	前期比内訳	
		単独	連結会社		単独	連結会社
売上高	9,225	7,842	1,383	250	228	22
売上原価	8,534	7,366	1,168	225	160	65
販管費	595	436	159	44	2	42
営業利益	96	40	56	69	70	1
営業外損益	15	30	15	17	20	37
経常利益	81	10	71	86	50	36
特別損益	14	11	3	5	7	2
中間純利益	28	4	32	51	19	32

# P / L 単独 営業利益70億円増益の要因分析

	当中間期	前期比	増減理由	単位:億円
売上高	7,842	228	販売価格の上昇394億円 総販売数量の減少 166億円	
売上原価	7,366	160	原油価格等の上昇337億円(内、在庫評価の影響152億円) 数量の減少要因 177億円	
販管費	436	2		
営業利益	40	70		

		当中間期	前期比
売上高の増減要因	販売価格(円/KL)	27,080	1,950
	総販売数量(千KL)	20,091	119
	前年同期比	-	99.4%
	内需燃料油数量(千KL)	13,662	23
	前年同期比	-	99.8%
受入原油価格	FOB(\$/BBL)	26.52	1.67
	為替(円/\$)	118.53	5.94
	税込価格(円/KL)	22,982	348
在庫評価の影響 (符号:対利益)	当中間期の影響	68	原価の押し上げ
	前中間期の影響	84	原価の押し下げ

内需燃料油内訳	前期比
ガソリン	98.3%
灯油	94.4%
軽油	95.8%
A重油	102.6%
4品計	97.9%
ナフサ	92.4%
ジェット	105.5%
C重油	126.3%
内需燃料油計	99.8%

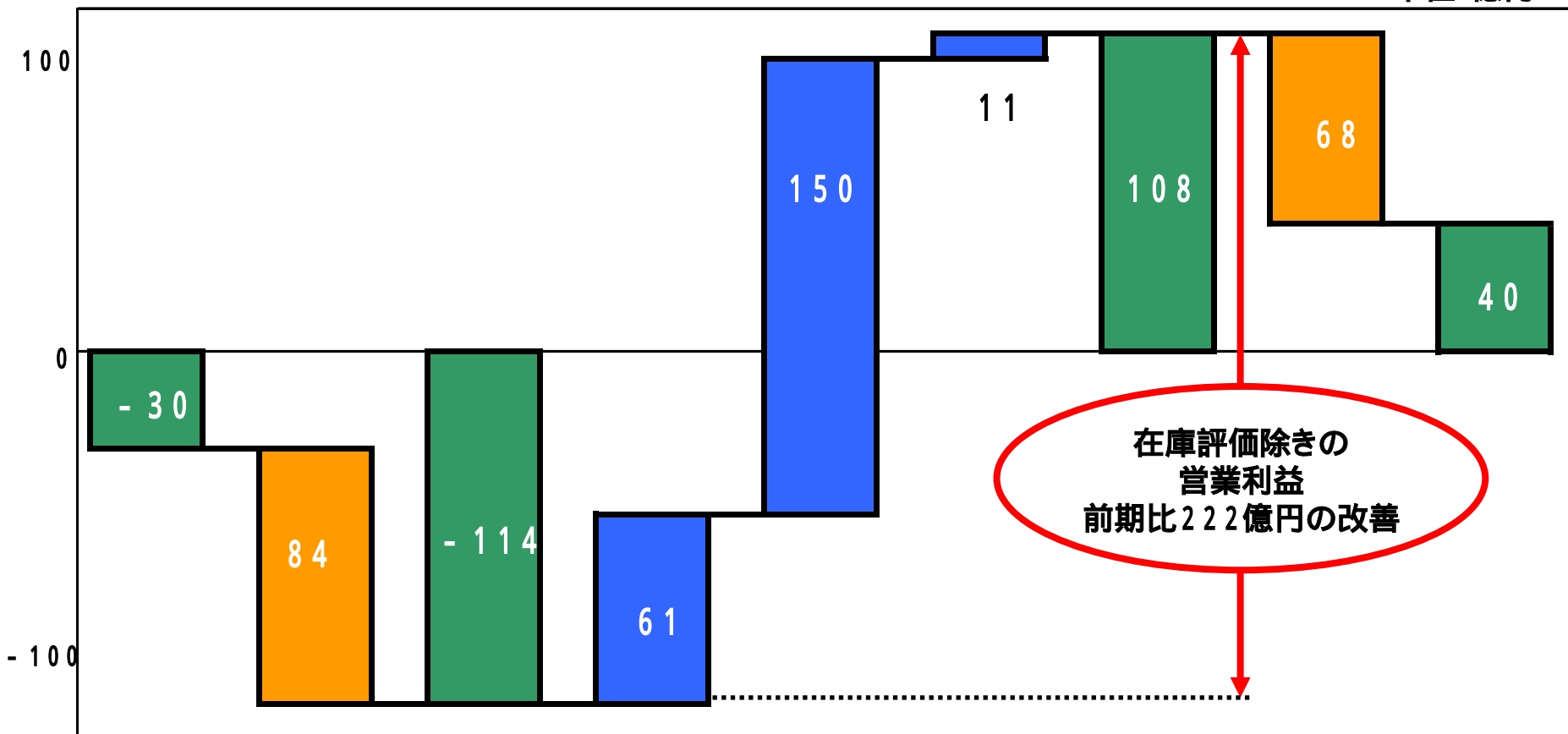
# P / L 単独 中間純利益19億円改善の要因分析

	当中間期	前期比	増減理由	単位:億円
営業利益	40	70		
営業外損益	30	20	金融収支 7億円(関係会社からの配当金減少他) 為替差額 5億円 / 雑損益 8億円	
経常利益	10	50		
特別損益	11	7	特別損失11億円(SS業態化など流通構造革新の推進に伴うSS の除却・撤去費他)	
中間純利益	4	19		

	当中間期	前期比
金融収支	42	7
為替差額	7	5
雑損益	5	8
営業外損益	30	20

# P / L 単独 営業利益70億円増益の要因分析

単位:億円



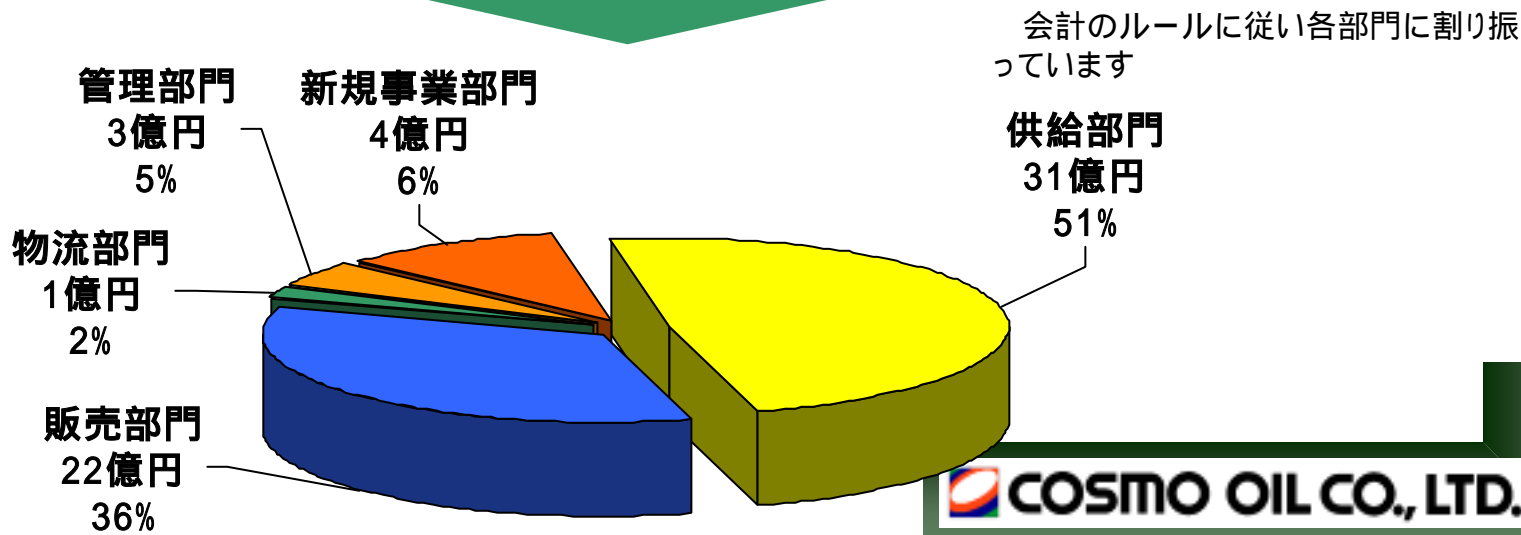
02年度 中間 営業利益	02年度 中間の 在庫評価の影響	在庫評価の影響を除いた 02年度 中間 営業利益	中計効果	市況の改善及びタイムラグの解消	販売数量の増減 (電力向けC重油需要増)	在庫評価の影響を除いた 03年度 中間 営業利益	03年度 中間の 在庫評価の影響	03年度 中間 営業利益
--------------	------------------	--------------------------	------	-----------------	----------------------	--------------------------	------------------	--------------

# P / L 単独 営業利益70億円増益の要因分析

## 中計効果61億円の内訳

<b>「価値創造」</b>	<b>31億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>6億円</b>
SCMの強化による機動的な需給運用他	
<b>販売部門</b>	<b>21億円</b>
リテールチャネルの販社拡大、直売強化 及び価格改善	19億円
カード収入増	2億円
<b>新規事業部門</b>	<b>4億円</b>
IPP事業他	

<b>「合理化」</b>	<b>30億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>25億円</b>
VLCC用船料の低減	7億円
製油所の省エネ、保全費の削減	13億円
人員のスリム化他	5億円
<b>販売部門</b>	<b>1億円</b>
人件費など経費の削減	
<b>物流部門</b>	<b>1億円</b>
油槽所の効率運用他	
<b>管理部門</b>	<b>3億円</b>
人件費や経費の削減他	



単位:億円

	当中間期	前期比	増減理由
売上高	1,383	22	
販管費	159	42	
営業利益	56	1	アブダビ石油 10億円 / 販売子会社 7億円 その他 +16億円
営業外損益	15	37	
経常利益	71	36	持分法適用会社 +19億円 / その他 +17億円
特別損益	3	2	
中間純利益	32	32	販売子会社 5億円 その他 +8億円 持分法適用会社 +19億円 その他連結特有の処理 +10億円

単位:億円

	当中間期末	前期末比
総資産	12,026	441

## 資産総額441億円減少の要因

手元資金の増加 4億円

売掛債権等の減少 720億円

→ 季節要因による減少

売掛金の減少 461億円

未収入金の減少 259億円

棚卸資産の増加 245億円

→ 冬場の需要期に向け在庫積み増し

その他 30億円

合計 441億円

	当中間期末	前期末比
有利子負債額	5,732	106

単位:億円

	当中間期	前期末比	増減理由
営業活動によるキャッシュフロー	88	-	
投資活動によるキャッシュフロー	202	-	固定資産の取得 (IPP、セルフSS投資等)
財務活動によるキャッシュフロー	84	-	借入調達額の増加
期末のキャッシュ残高	412	26	

## 通期業績予想 連結

単位:億円

	通期	前期比
売上高	19,000	28
営業利益	300	58
経常利益	250	62
当期純利益	100	66

主要会社別 経常利益 業績予想	通期	前期比
コスモ石油単独	100	9
アブダビ石油	74	2
販売子会社	15	2
コスモ石油ルブリカンツ	7	1
コスモ松山石油	9	2
持分法適用会社	31	21
その他子会社	14	35
合計	250	62

# 通期業績予想 単独

	通期	前期比
売上高	16,600	209
営業利益	165	43
経常利益	100	9
当期純利益	40	12
配当(円)	6	-
1株あたり当期純利益(円)	6.33	

単位:億円

## 業績予想の前提

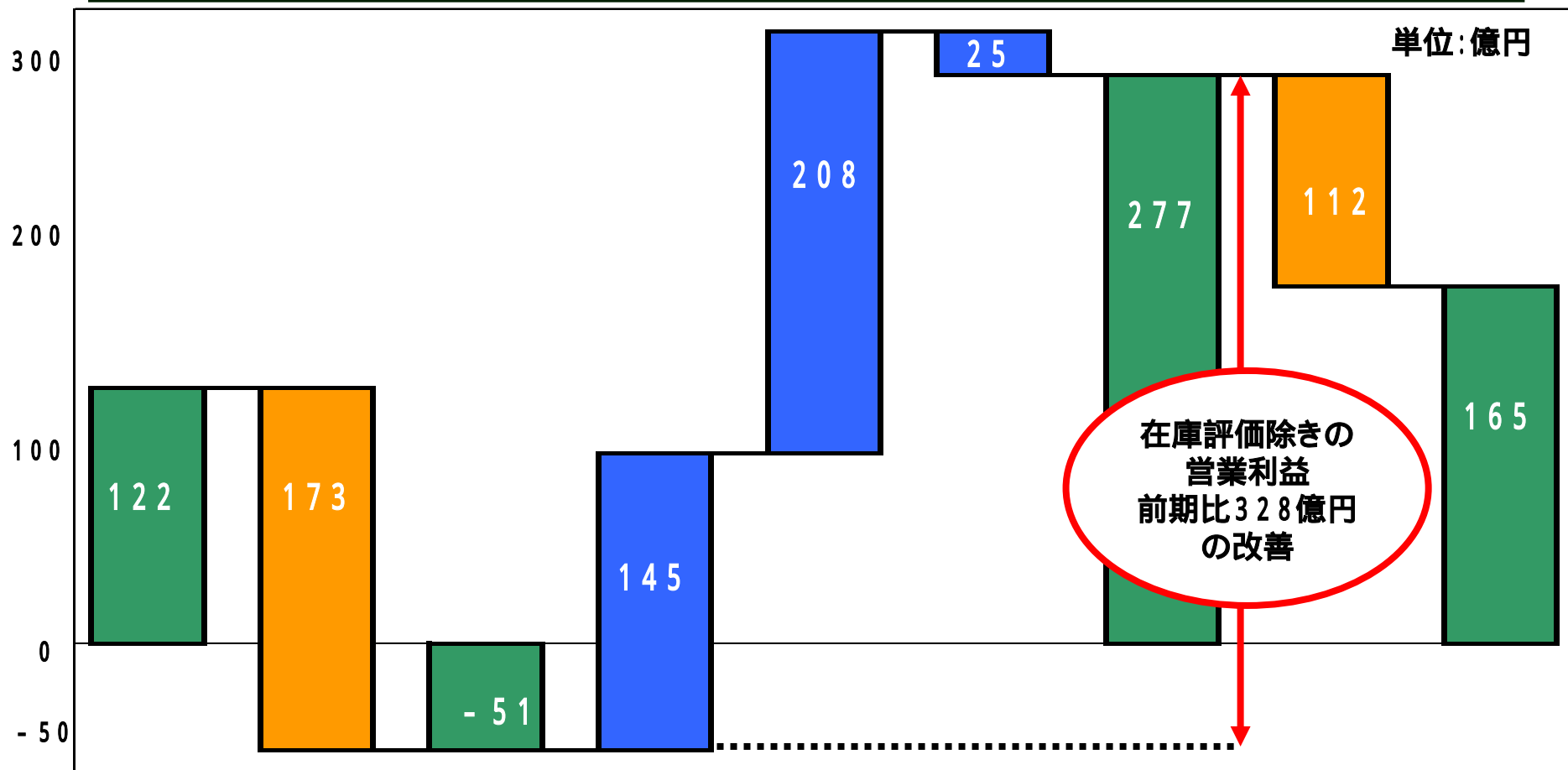
	通期
FOB(\$/BBL) <下期>	27.00
為替(円/\$) <下期>	110.00
総販売数量(千KL)	43,800
総販売数量(前期比、%)	96.8%
内需販売数量(前期比、%)	96.8%
「中計」効果(億円)	145

## 内需販売数量内訳

	通期		通期
ガソリン	99.2%	ナフサ	96.4%
灯油	94.8%	ジェット	102.3%
軽油	96.4%	C重油	91.4%
A重油	100.2%		
4品計	97.8%	内需燃料油計	96.8%

# 通期業績予想 単独 営業利益43億円増益の要因分析

単位:億円



在庫評価除きの  
営業利益  
前期比328億円の改善

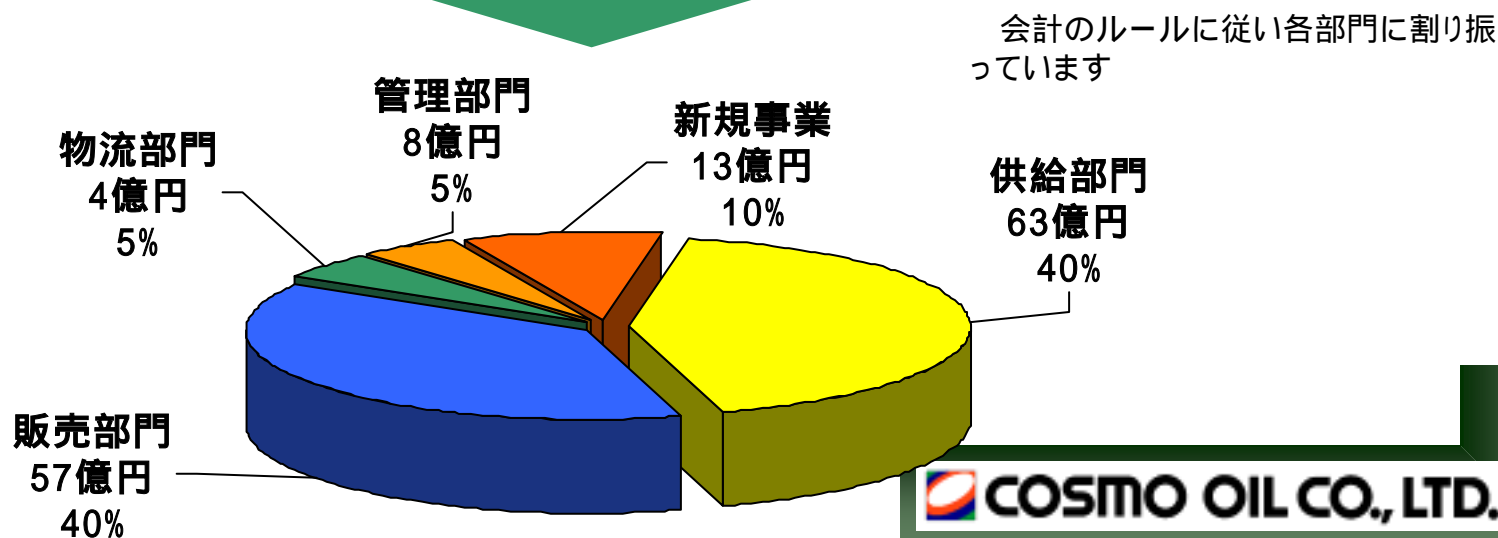
02年度 営業利益	02年度 在庫評価の影響	在庫評価の影響を除いた02年度 営業利益	中計の効果	市況の改善タイムラグの解消	販売数量減	在庫評価の影響を除いた03年度 営業利益	03年度 在庫評価の影響	03年度 営業利益
-----------	--------------	----------------------	-------	---------------	-------	----------------------	--------------	-----------

# 通期業績予想 単独 営業利益43億円増益の要因分析

## 「中計」効果145億円の内訳

<b>「価値創造」</b>	<b>76億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>16億円</b>
SCMの強化による機動的な需給運用	12億円
収益改善プログラム導入による付加価値UP	4億円
<b>販売部門</b>	<b>47億円</b>
リテールチャネルの販社拡大、直売強化及び価格改善	42億円
カード収入増	5億円
<b>新規事業部門</b>	<b>13億円</b>
IPP事業他	

<b>「合理化」</b>	<b>69億円</b>
<b>供給部門</b>	<b>47億円</b>
VLCC用船料の低減	10億円
製油所の省エネ、保全費の削減	27億円
人員のスリム化他	10億円
<b>販売部門</b>	<b>10億円</b>
人件費や経費の削減他	
<b>物流部門</b>	<b>4億円</b>
油槽所の効率運用他	
<b>管理部門</b>	<b>8億円</b>
人件費や経費の削減他	



販売の状況			
	当中間期	前期比	増減率
総販売数量 千KL	20,091	119	99.4%
内需燃料油 千KL	13,662	23	99.8%
内 4品数量 千KL	8,362	176	97.9%
マグナムレシオ	18.1%	0.8%	-
原油処理、価格、為替			
	当中間期	前期比	増減率
受入原油代(FOB)\$/BBL	26.52	1.67	-
為替レート¥/\$	118.53	5.94	-
受入原油代(税込)¥/KL	22,982	348	-
原油処理量(自工場)千KL	14,145	1,232	109.5%
中間四品得率	45.2%	2.5%	-

# 補足資料 人員数・油槽所数・SS数推移

人員数推移								計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	03/09末	04/3末
石油単独	3,109	2,677	2,048	1,970	1,892	1,837	1,799	1,792
グループ	5,678	5,256	4,600	4,416	3,978	3,736	3,666	3,566
グループ: 石油単独 + 出向 + 出向受け入れ								

油槽所数推移								
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	03/09末	04/03末
DT数	57	52	45	41	39	39	38	38

SS数推移								実績	計画
	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	03/09末	04/03末	
社有	1,172	1,105	1,065	1,010	977	959	955	957	
自己	5,614	5,376	5,040	4,769	4,564	4,313	4,185	4,085	
合計	6,786	6,481	6,105	5,779	5,541	5,272	5,140	5,042	

## 上記のうち、セルフSS数

	98/3末	99/3末	00/3末	01/3末	02/3末	03/3末	03/09末	04/03末
社有	0	3	6	16	77	198	237	283
自己	0	2	2	7	32	87	99	122
合計	0	5	8	23	109	285	336	405

単位：億円

	当中間期	前期比	増減率
売上高	9,225	250	2.8%
営業利益	96	69	256.8%
経常利益	81	86	-
中間純利益	28	51	-
総資産	12,026	441	-
株主資本	1,975	39	-
株主資本比率	16.4%	0.9%	-
有利子負債額	5,732	106	-
有利子負債比率	47.7%	2.6%	-

単位:億円

	当中間期	前期比	増減率
売上高	7,842	228	3.0%
営業利益	40	70	-
経常利益	10	50	-
中間純利益	4	19	-
総資産	10,512	304	-
株主資本	1,652	2	-
株主資本比率	15.7%	0.4%	-
有利子負債額	5,067	97	-
有利子負債比率	48.2%	2.3%	-

単位:億円

	前期	増	減	当中間期
連結子会社	27	5	1	31
持分法適用の子会社	37	3	1	39
持分法適用の関連会社	5	0	0	5

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
アブダビ石油	150	32	33	7
販売子会社	1,290	3	1	4
コスモ石油ルブリカンツ	146	2	2	1
コスモ松山石油	82	7	6	4

注:中間純利益は当社持分相当額です。

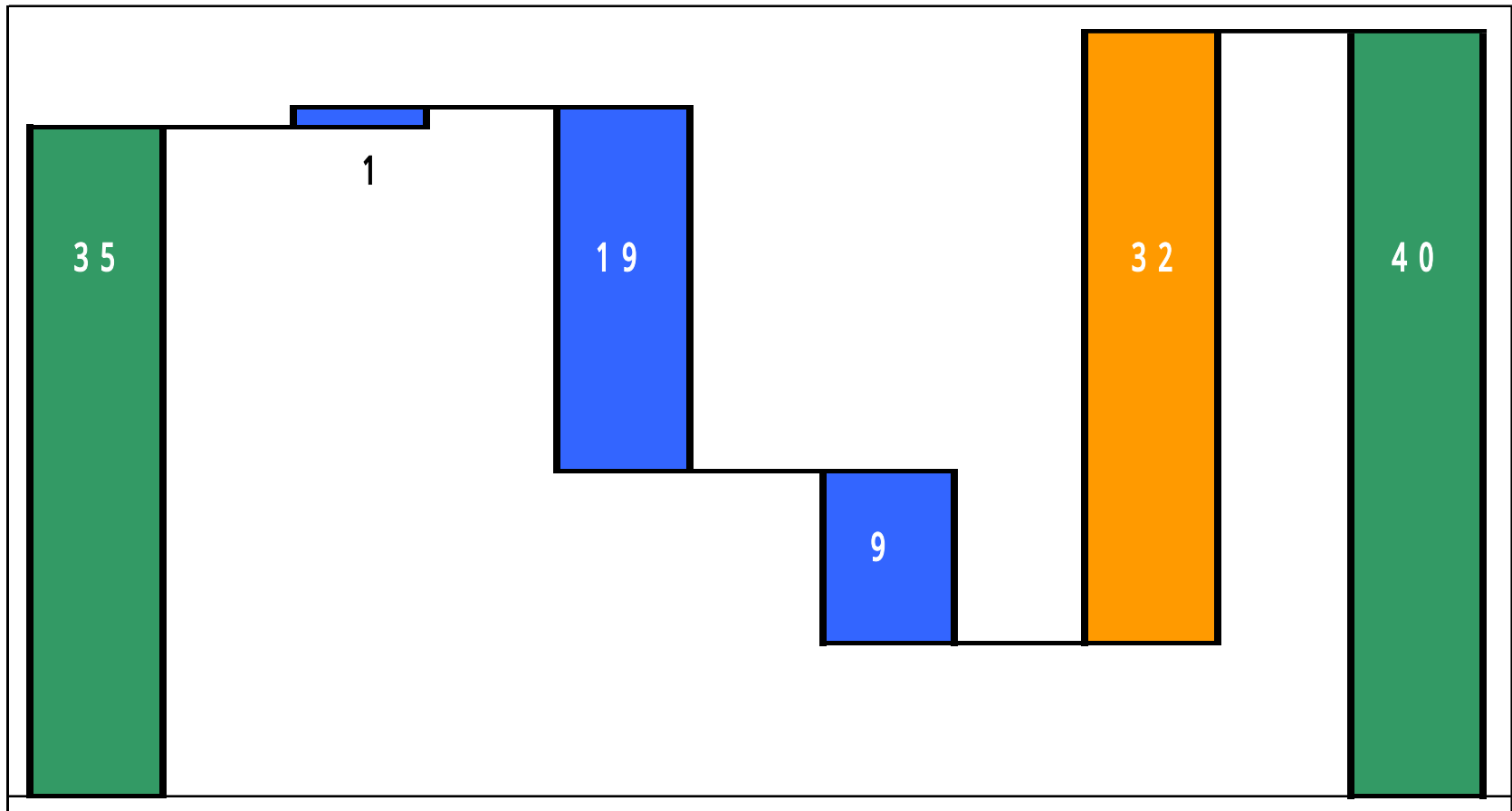
# 補足資料 単独 当初公表利益(5/20発表)との差異分析

単位:億円

40

20

0



当初公表  
03年度  
中間営業利益

中計効果の  
上積み  
60 61

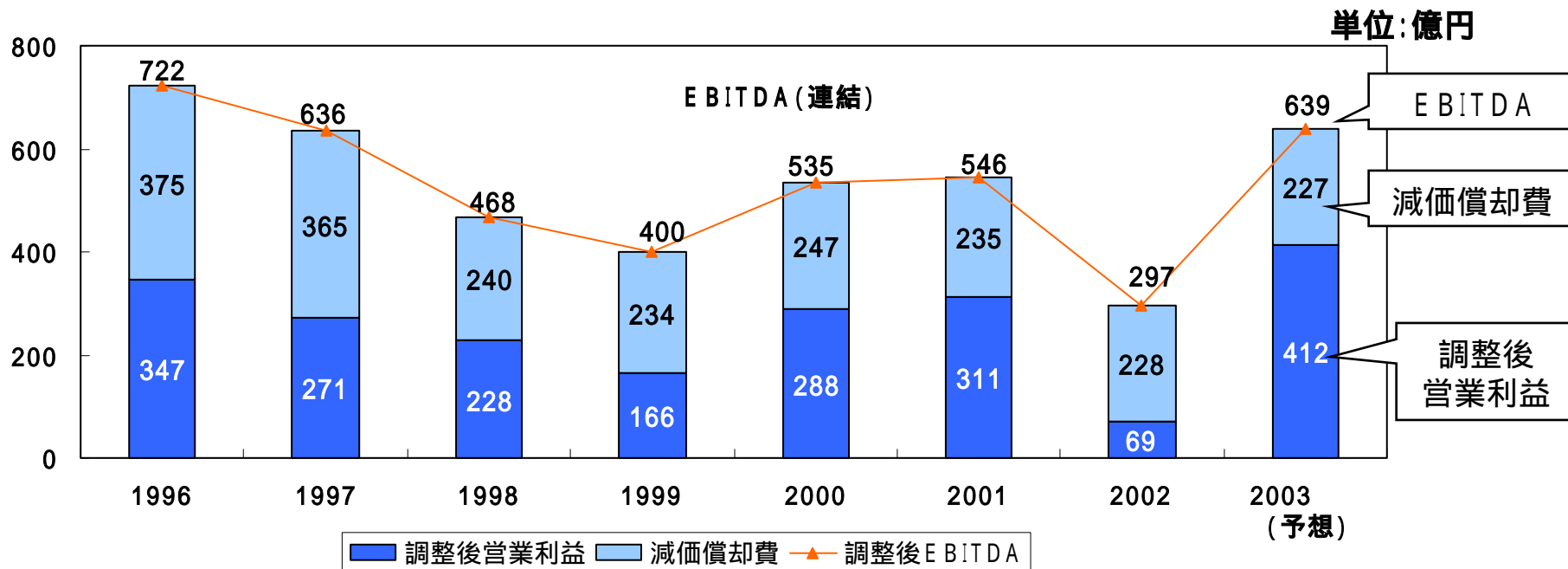
市況の影響  
及び  
タイムラグ  
解消額減少  
他

冷夏・SARS  
による数量減

在庫評価の  
影響  
100  
68

03年度  
中間  
営業利益  
実績

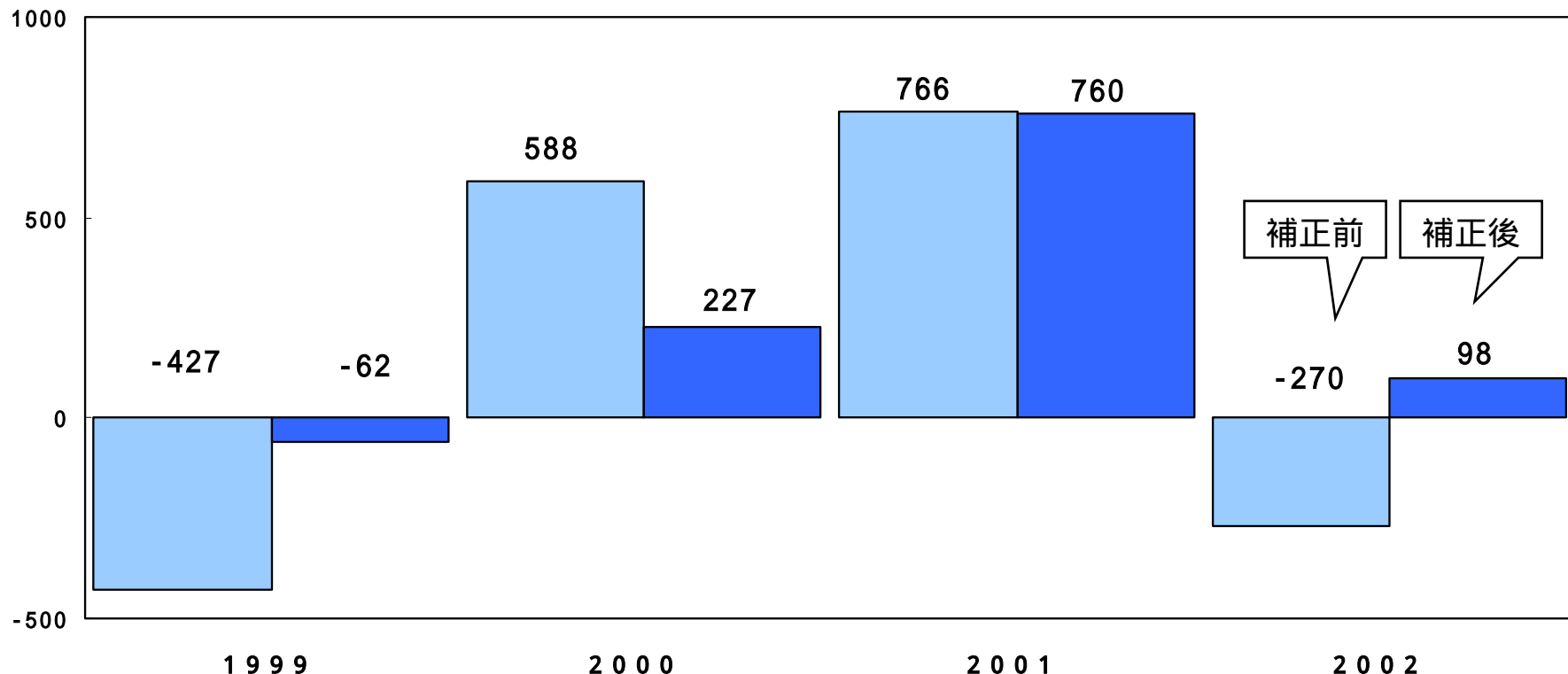
# 補足資料 連結 在庫評価の影響を調整したE BITDAの推移



	2000	2001	2002	2003 (予想)
会計上の営業利益	366	221	242	300
在庫評価の影響 (符号: 対利益)	78	90	173	112
調整後営業利益 (会計上の営業利益 - 在庫評価の影響)	288	311	69	412

2000年度より在庫評価方法変更

単位:億円



補正営業キャッシュフロー

揮発油税の支払いは毎月末であるため、期末日が休日の場合は翌期にずれてしまう。

このため翌期は13ヶ月分の揮発油税を支払うことになるので、これを12ヶ月分ずつ支払ったベースに補正した営業キャッシュフロー。

### 見通しに関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。